

SFC 研究所所長 殿

## SFC 研究所ラボトリ年次活動実績報告書

|  |                                    |      |       |           |     |
|--|------------------------------------|------|-------|-----------|-----|
| ラボ名称   | SIVアントレプレナー・ラボ                     |      |       |           |     |
| ラボ代表者  | 氏名                                 | 國領二郎 | 所属・職名 | 総合政策学部 教授 |     |
| ラボ設置期間   | 2005 年 4 月 1 日 ~ 2008 年 3 月 31 日まで |      |       |           | 3年間 |
| 報告対象期間   | 2006 年 4 月 1 日 ~ 2007 年 3 月 31 日まで |      |       |           | 2年目 |
| <b>研究活動報告</b> (設置申請書, 継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)   |                                    |      |       |           |     |
| <p>SIV ラボ 2006 では、研究活動を「インキュベーション」、「ネットワーキング」、「アントレプレナー育成」、「研究」の4本柱に整理し、推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● インキュベーション <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ディールの発掘、プレインキュベーション</li> <li>✓ 学内組織への提案、ネットワーキングの提供、プログラムの共同運営</li> </ul> </li> <li>● ネットワーキング <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 産業界とのネットワーキングの提供</li> <li>✓ グローバルネットワークの拡充</li> <li>✓ KIEP のコーディネーション</li> </ul> </li> <li>● アントレプレナー育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教材開発、授業運営</li> <li>✓ 学内組織への提案、ネットワーキングの提供、プログラムの共同運営</li> <li>✓ 2008 年グローバルコンテストの実現</li> </ul> </li> <li>● 研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 先進事例調査研究と新規プログラム立ち上げ</li> <li>✓ イノベーションを誘発するプラットフォームのモデル研究</li> <li>✓ 産学連携による新事業創出のモデル研究</li> <li>✓ インキュベーションにおける Alumni Network の活用モデルの研究</li> </ul> </li> </ul> <p>SIV ラボ 2006 の顕著な成果は以下の 10 点である。(詳細は、「SIV Annual Report 2006」参照のこと)</p> <p>成果 1: SIV ブランドの確立</p> <p>成果 2: 慶應藤沢イノベーションビレッジ 本格稼動</p> <p>成果 3: KBC 実行委員会発足</p> <p>成果 4: 株式会社 MMIP 新体制へ</p> <p>成果 5: 特別研究教員 4 人体制へ</p> <p>成果 6: アントレプレナー概論 I・II</p> <p>成果 7: グローバル連携の強化</p> <p>成果 8: ディールフローの増加</p> <p>成果 9: 國領二郎氏インキュベーションセンター所長へ</p> <p>成果 10: Keio Innovation &amp; Entrepreneurial Pipeline 発足</p> |                                    |      |       |           |     |

## 研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

論文名／著書名、著者名、学協会誌名／発行所、巻・号・ページ、発表／発行年（西暦）を記入。著者名が多数の場合、主な著者を数名記入して以下を省略し人数のみとしても可。成果が多数で記載しきれない場合は、この頁をコピーして追加して可。

### 学術論文

- 牧 兼充、「大学型インキュベーションシステムのデザインにおけるアーキテクチャに関する考察」、産学連携学会第4回大会、2006年6月
- 牧 兼充、「ベンチャーインキュベーションにおける知的財産のパブリックドメインとプライベートドメインに関する考察」、日本知財学会第5回年次学術研究発表会、2006年6月
- 牧 兼充、「アントレプレナー育成を基盤とした大学型ネットワーキングプラットフォームに関する研究」、日本ベンチャー学会第9回全国大会、2006年11月

### 卒業制作

- 萩原 聡、「クックパッド株式会社 2006」2007年1月
- 浮津 弘康、①「浮津 弘康のキャリア選択 2006」  
②「事業計画書；キャップカット装置」2007年1月
- 坂田 勝信、「Keio Business Contest 2007 6 版」2007年1月
- 花崎 智弘、「固体識別技術を活用した実空間におけるマーケティングツールに関する研究」  
2007年1月

### 修士論文

- 「位置情報を用いたインスタントメッセージシステムの実装と評価」、村上 拓也、2007年1月
- 「位置情報を利用したインスタントメッセージングの試作と評価」、佐藤 公宣、2007年1月

## 研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

論文名／著書名、著者名、学協会誌名／発行所、巻・号・ページ、発表／発行年(西暦)を記入。著者名が多数の場合、主な著者を数名記入して以下を省略し人数のみとしても可。成果が多数で記載しきれない場合は、この頁をコピーして追加して可。

### 報道関連

#### 2006年

##### 3月

- PRINT ZOOM 株式会社日本印刷新聞社 P20-24 「学生ビジネスプランコンテスト優勝者の発送に迫る！ 購買はコストメリットだけが促すのか」
- 大和総研 新規産業レポート「拡充すすむ大学の起業家教育」

##### 4月

- 企業診断 54 ページ 「起業家教育現場レポート第4回 慶應義塾大学 SIV アントレプレナー・ラボラトリー事務局長牧兼充氏の起業家教育論」
- 電通育英会機関紙 「デジタルキャンパスでの学生生活」
- 日本経済新聞朝刊 015 ページ 「起業志望学生 「かばん持ち」を体験 経営者の哲学吸収 慶大6社と連携」
- 経営革新・マーケティング委員会 マーケティング部会研究報告 P22-P27「未来社会をまるごとインキュベートする 印刷業界と大学発ベンチャーとの接点」

##### 5月

- 週刊新潮 ゴールデンウィーク特大号 「公的機関との連携による IT ベンチャー支援を改めて宣言」
- 日本経済新聞 015 ページ 「VB 育成、海外大学と連携」
- 財界 春季特大号 「鈴木研究会」SIV リサーチ株式会社(9月で株式会社MM インキュベーション・パートナーズに名称変更)の紹介

##### 6月

- 日経 BP 産学連携事務局「慶大 SIV アントレプレナー・ラボラトリー、大学型インキュベーション・システム構築のデザインを考察」
- 朝日新聞(夕刊)「就職力 ベンチャーの育成を目指す」

##### 7月

- 日経ビジネス『ASSOCIE』「ベンチャー支援の新しいカタチが日本を変える」
- 息子・娘を成長させる大学 「慶應義塾大学 SFC」
- 読売新聞 YOMIURI SPECIAL37 「息子・娘を成長させる大学-ニートにさせないために必要なのはこれだ!」
- WEB マイクロソフト 「IT ベンチャー企業育成・支援プログラム」

##### 8月

- 「頭のよくなる家」出版(四十万 靖、渡辺 朗子著)
- SOTOKOTO P46, 47 「未完の家が子どもを賢くする。」
- アエラ「学力伸ばす家族のチカラ」
- 週刊現代「親と子の中学受験講座 合格する子は『リビング』で勉強していた」

##### 9月

- 日経 BP インタビュー「中学受験に成功する家の共通点「コミュニケーション」～『頭のよい子が育つ家』著者・四十万靖」
- 日刊工業新聞 プラスゲータ 「大学発ベンチャーの挑戦 93. 学生社長が事業展開」

## 研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

論文名／著書名、著者名、学協会誌名／発行所、巻・号・ページ、発表／発行年（西暦）を記入。著者名が多数の場合、主な著者を数名記入して以下を省略し人数のみとしても可。成果が多数で記載しきれない場合は、この頁をコピーして追加して可。

### 10月

- 日刊工業新聞 「歩行発電シート実用化へ 音力発電 慶大施設で事業開始」
- PRESIDENT p62～ 「ベンチャー社長・役員排出ランキング、公務員・ゴールド資格に強いランキング」
- テレビ東京『ワールドビジネスサテライト』「トレンドたまごー歩くと発電ー」出演（音力発電）
- 日刊工業新聞 「歩いただけPHS充電 音力発電が発電下駄」

### 11月

- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』連載開始  
①「ますます自然体に 日本のベンチャー」（田中克徳）
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』②「明快な理念あれば協力者は現れる」（田中克徳）
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』③「ビジネスプランは現場から」（田中克徳）
- 朝日新聞（夕刊）「これぞ『賢くなる家』開放的な勉強部屋カギ 受験合格者調べ建設」
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』④「『かかりつけの医者』をみつけて臨機応変に」（田中克徳）

### 2007年

#### 1月

- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』⑩「異質、多様な交流が新事業を生む」（牧 兼充）

#### 2月

- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』⑫「メンターが起業志す若者を支援」（森 靖孝）
- 神奈川新聞 「企業ふ化の現場から 慶應藤沢イノベーションビレッジ インキュベーションマネージャー 廣川 克也」
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』⑬「『エレベーターピッチ』で支援要請が米西海岸流」（樺澤 哲）
- 日本経済新聞 土曜版 「こどもの勉強空間どう演出」

#### 3月

- 日経産業新聞 「点検大学発 VB 慶大 『頭の良くなる家』提案 地財生かし商品開発 eco-s corporation」
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』⑮「普段着で何気なく会える『人の輪』が社会基盤に」（田中 克徳）
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』⑯「地域の持つ独自の潜在能力や距離感つかむ」（田中 克徳）
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』⑰「様々な職種で構成-相思相愛にこだわり-」（田中 克徳）
- フジサンケイ ビジネスアイ『起業家に聞く 成功への道』⑱「最終回」（田中 克徳）

会計報告

※ 収入（研究種目（委託、コンソ等）・件数・合計金額等）、支出、繰越金額などを記載してください。

【収入】

| 研究種目    | 契約件数 | 研究費総額        | 備考           |
|---------|------|--------------|--------------|
| コンソーシアム | 53 件 | 11,295,681 円 | サロン会費含む      |
| 協賛金     | 3 件  | 1,701,000 円  |              |
| 補助金     | 1 件  | 6,450,000 円  | 経産省          |
| 指定寄付金   | 4 件  | 8,056,340 円  | DNP 寄附講座資金含む |
| 学内研究費   | 3 件  | 1,298,978 円  | 森、高度化、プロ費    |
| その他     |      | 2,410,598 円  |              |
| 前年度繰越金  |      | 4,685,153 円  |              |
| 合計      | 64 件 | 35,897,750 円 |              |

(注：DNP 寄附金は寄附講座を対象としたものであるが、SIV のベンチャー支援活動と連携した授業サポートを行ったためこの報告書に含めるものとする。)

【支出】

| 費目                 | 金額           | 備考           |
|--------------------|--------------|--------------|
| 人件費（謝金、時間給与、月額給与等） | 13,621,856 円 |              |
| 機器備品               | 1,117,289 円  |              |
| 消耗品                | 640,052 円    |              |
| 出張費／交通費            | 1,822,040 円  |              |
| 委託費                | 852,076 円    |              |
| 印刷費                | 648,425 円    |              |
| ホームページ整備費          | 1,233,750 円  |              |
| 事務所賃貸料             | 5,292,037 円  | 敷金など含む       |
| 学会・セミナー会費          | 235,628 円    |              |
| オーバーヘッド            | 1,678,254 円  |              |
| その他                | 2,027,993 円  | 光熱費、通信費、書籍費他 |
| 合計                 | 29,169,400 円 |              |

【合計】

|    | 金額           | 備考       |
|----|--------------|----------|
| 収入 | 35,897,750 円 |          |
| 支出 | 29,169,400 円 |          |
| 合計 | 6,728,350 円  | 次年度へ繰り越し |

【収入内訳】

| 委託元企業名等 | 研究テーマ名 | 研究費（円） |
|---------|--------|--------|
|         |        |        |

## 構成メンバー

昨年度（2006年度）のものを記す。今年度も原則継続する。

代表： 國領 二郎（総合政策学部教授/SFC 研究所長）

副代表： 村井 純（常任理事/環境情報学部教授）

事務局長： 牧 兼充（政策・メディア研究科助手）

### ●SIV 推進委員会

小島 朋之（総合政策学部長）

富田 勝（環境情報学部長）

徳田 英幸（政策・メディア研究科委員長）

吉野 肇一（看護医療学部教授）

熊坂 賢次（環境情報学部教授）

小檜山 賢二（政策・メディア研究科教授）

花田 光世（総合政策学部教授）

中村 洋（経営管理研究科教授）

岡田 正大（経営管理研究科助教授）

飯盛 義徳（環境情報学部専任講師）

### ●SIV 運営委員会

牧 兼充（政策・メディア研究科助手 / 事務局長）

鈴木 明（SIV リサーチ株式会社代表取締役村長 / メンター三田会幹事）

森 靖孝（SIV リサーチ株式会社代表取締役助役 / メンター三田会会長代行）

田中 克徳（政策・メディア研究科助教授 / 三菱地所）

樺澤 哲（政策・メディア研究科教授 / 松下電器）

浜本 幸一（SIV リサーチ株式会社取締役 / メンター三田会事務局長代行）

### ●会員企業

・マイクロソフト株式会社・スルガ銀行・フィグラ株式会社・財団法人台日経済貿易発展基金會・三井物産株式会社・伊藤忠テクノソリューションズ株式会社・あずさ監査法人・エヌ・アイ・エフ SMBC ベンチャーズ株式会社・松下電器産業株式会社・トラボックス株式会社・三菱商事株式会社・三菱地所株式会社（丸の内フロンティア事務局）・メキキ・クリエイツ株式会社・監査法人トーマツ・新日本監査法人・太陽国際特許事務所・三浦藤沢信用金庫・大東印刷工芸株式会社・ネットエイジキャピタルパートナーズ株式会社・株式会社ビットアイル・三菱東京 UFJ 銀行・21LADY 株式会社・株式会社タイキ・株式会社三技協・株式会社 eco-s corporation・ハルデザインコンサルティング株式会社・株式会社ケイビーエムジェイ・有限会社 綴・独立行政法人中小企業基盤整備機構・神奈川県・藤沢市・財団法人藤沢市産業振興財団・NPO 法人ベンチャーサポート研究会・SFC 三田会・株式会社 MM インキュベーションパートナーズ